



動と静の心地よさ

左の写真は、昼休み、1年生がドッジボールをしている場面です。上級生に交じって、気持ちよさそうに身体を動かしています。入学して1年。ボールを当てられないように逃げることも上手になりました。また、ボールを遠くまで投げることもできるようになりました。

右の写真は、昼休みが終わり、教室に戻って読書タイムが始まったところです。教師が指示を出さなくても、自分が読みたい本を選び、一切おしゃべりをせず、本の世界に入り込んでいます。

学校生活は、このような動と静の繰り返し。この繰り返しによって、子どもたちは心地よさを感じるとともに、日々集中力を磨いています。

